

平成27年度 決算状況報告 一般会計

平成27年度一般会計の決算額は、収入283億194万円、支出271億8,280万円でした。そのうち平成28年度へ事業を繰り越して使う財源を差し引いた実質収支は、9億2,577万円の黒字決算となりました。公共施設等整備基金等への積立てや市債残高の削減を着実に進めたことで、各財政指標も改善した結果となりました。

平成27年度から普通交付税が段階的に縮小しており、平成31年度をもって合併による特例期間が終了するため、将来の財源不足に備え、今後も健全な行財政運営に努めていきます。

図財政課 ☎43-5209

市民一人当たりに使った
お金の換算すると・・・

(※ 27年度末住民基本台帳 人口49,046人で算出)

55万4,231円



旧緑庁舎解体及び改修事業

▲総務費 4,730万円
旧庁舎の跡地利用等のため、平成27年度は旧緑庁舎の解体及び改修を行いました。



ふるさと南あわじ応援寄附金事業

▲総務費
2億194万円(寄附金額4億9,299万円)
ふるさと南あわじ応援寄附金の促進、地元特産品のPRを行い、地域活性化に貢献しました。



3歳児以上保育料無料化事業

▲民生費
2億4,468万円(無料化による一般財源影響額)
全国に先駆けて、3歳児以上の保育所等の保育料(給食費除く)の無料化を行いました。

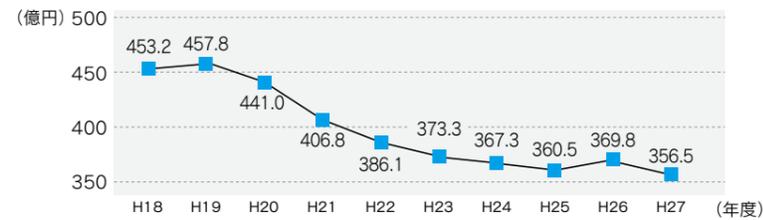


中学校空調設備整備事業

▲教育費 4億1,746万円
倭文中学校、西淡中学校、三原中学校、南淡中学校、沼島中学校の空調設備を整備しました。

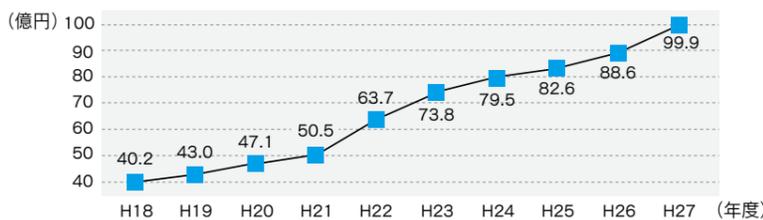
市債(借金)残高の状況

	27年度末	市民1人当たり
一般会計市債残高	356億5,410万円	72万7,000円



基金(貯金)残高の状況

	27年度末	市民1人当たり
一般会計基金残高	99億9,092万円	20万3,700円



市税の収入状況

区分	収入額	市民1人当たり
市民税	21億5,499万円	4万3,900円
固定資産税	29億4,873万円	6万100円
軽自動車税	1億7,600万円	3,600円
市たばこ税	3億6,227万円	7,400円
入湯税	5,251万円	1,100円
合計	56億9,450万円	11万6,100円

この決算状況を「月収30万円の家計」に例えると・・・

収入		支出	
給与	30万円 (+13,600円)	食費 (人件費)	5万6,000円 (-2,800円)
うち基本給 (市税など)	25万4,600円 (8,000円)	医療費 (扶助費)	5万円 (-3,200円)
諸手当 (特別地方交付税、使用料など)	4万5,400円 (+5,600円)	ローンの返済 (公債費)	7万800円 (-5,800円)
前月からの繰越金 (繰越金)	1万2,900円 (-5,600円)	光熱水費や通信費など (物件費)	6万3,000円 (+1万5,800円)
親からの援助 (国・県支出金)	7万5,700円 (+2,000円)	家・車・電化製品の修理や買換 (維持補修費、普通建設事業費)	5万5,100円 (-4万9,300円)
銀行からの借入 (市債)	4万9,200円 (-3万3,700円)	交際費・子どもへの仕送り (補助費、繰出金など)	10万7,900円 (+8,800円)
貯金の取り崩し (基金繰入金)	1,300円 (-300円)	貯金 (積立金)	1万8,800円 (+8,000円)
計	43万9,100円 (-2万4,000円)	計	42万1,600円 (-2万8,500円)

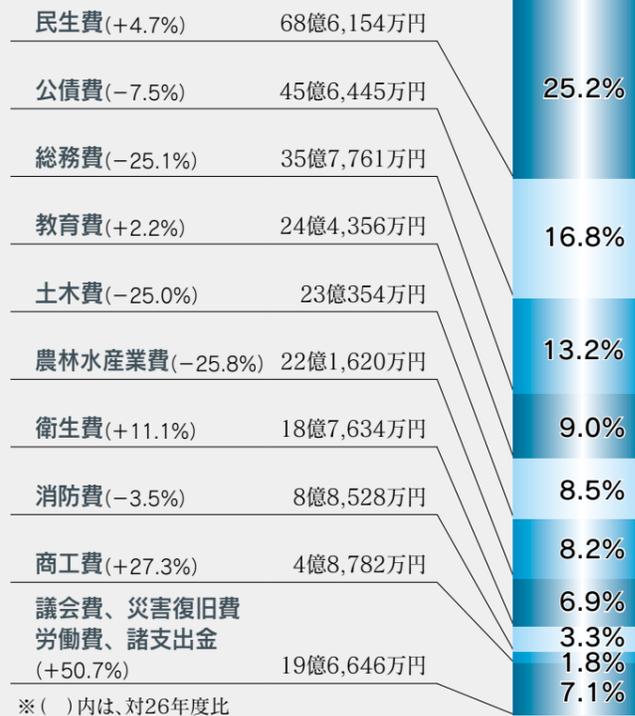
毎月の出費が約42万円。月収30万円では足りません。不足分(約12万円)を親からの援助や銀行からの借入、貯金の取り崩しでまかなっています。

来月への繰越金
1万7,500円(+4,500円)

南あわじ市 41・9% (これが多いと一般家庭のエンゲル係数が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します)

支出 271億8,280万円

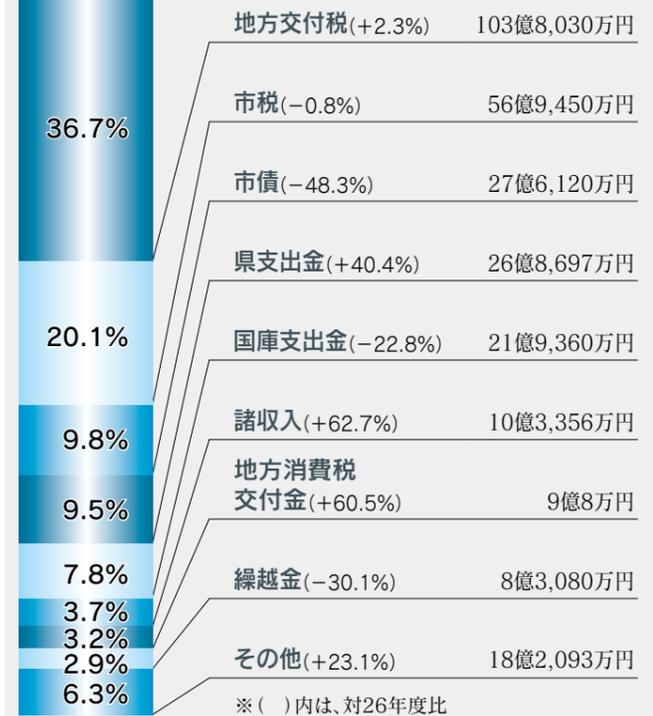
(26年度比-6.3%)



※()内は、対26年度比

収入 283億194万円

(26年度比-5.2%)



※()内は、対26年度比

健全化判断比率(速報)

指標	南あわじ市		早期健全化基準	財政再生基準
	27年度	26年度		
実質赤字比率 (普通会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	12.64	20.00
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	17.64	30.00
実質公債費比率 (借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度を見る比率)	13.2	13.6	25.0	35.0
将来負担比率 (市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を見る比率)	122.8	131.7	350.0	-

※赤字が生じない場合は、「-」と表示

資金不足比率(速報)

指標	南あわじ市		経営健全化基準	備考
	27年度	26年度		
資金不足比率 (企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る比率)	-	-	20.0	会計ごとに算定

※資金不足が生じない場合は、「-」と表示

27年度の収入は、昨年度と比較して、地方消費税交付金の増加、大鳴門橋記念館の移譲に係る交付金及び地域介護拠点整備補助金等の県支出金の増加、ふるさと南あわじ応援寄附金を促進するため積極的にPRしたことによる寄附金の増加等がありましたが、新庁舎建設事業や若人の広場公園整備事業、食の拠点施設整備事業など大規模な施設整備が完了したことによる市債の減少等が影響し、

全体では5.2%のマイナスとなりました。支出面では、昨年度と比較して、淡路広域水道企業団(水道高料金対策)補助金の増加、プレミアム付商品券発行業務委託料の増、災害復旧事業費の増加等がありましたが、前述の大規模な施設整備が完了したことによる事業費の大幅な減少、繰上償還額の減少による公債費の減少等が影響し、全体では6.3%のマイナスとなりました。